

「住んでみたい、住んで良かった。」と実感できるまちづくりには、全力を尽くします。



宗宮孝生 町長

揖斐川町も合併して4年目となり、一つの節目を迎える年であります。

【これまでの取組】

この3年間、町の将来像として掲げております「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向け、「人づくりはまちづくり」の観点から、まちづくり計画の重点プロジェクトであります地域情報・道路・公共交通の3つのネットワークの整備と、教育・文化・福祉の向上を目標に掲げ、町政の運営に取り組んできました。

この間、旧町村の継続事業を実施するとともに、まちづくりに必要な、「第一次総合計画の策定」などを行うとともに、まちづくり計画の重点プロジェクトを積極的に推進してきました。特に、地域情報・道路・公共交通の3つのネットワーク整備は大きく進み、その成果が着実に現れてきました。

情報通信ネットワークについては、昨年の11月1日より試験運用を開始し、住民の皆さんに「いびがわチャンネル」による自主放送番組や、音声告知

放送による情報提供を行えるようになりました。

公共交通ネットワークについては、地域住民の皆さんの生活に密着した、利用しやすい交通手段としてコミュニティバスが定着し、乗車状況もスクー

ルバスとしての小中学生の利用を除き、18年度の同時期と比較して、乗車率が平均24.04パーセントの増加となりました。

道路ネットワーク整備については、国道417号岡島橋の架け替えが国の公共事業採択を受けるとともに、滋賀県へ抜ける国道303号の坂内地内川上バイパスの橋梁工事、新横山橋のケーソン部の工事が進められるなど、年間を通じて安心して走行ができる道路環境の整備が着実に進み、あわせて町道や農道、林道を整備することにより、地域の活性化や災害時の複線ルートなど多面的な機能を有した道路整備が、着実に進んでいます。

この他にも、観光交流産業の推進として、いび川温泉「藤橋の湯」や「徳山会館」谷汲門前街景観整備基本計画の策定事業など地域と連携した、観光交流産業の推進にも取り組んできました。

また、地域住民の皆さんが安全で安心して生活できるよう、木造住宅・建築物等耐震化促進事業や消防体制の充実など防災基盤の確立を推進するとともに、住んでみたい、住んで良かったと言っていただけの地域づくりとして、公営住宅整備や乳幼児・児童医療費の

助成や児童手当の支給、すこやかベビー祝い金などの拡充を行うとともに、不妊症治療助成事業、中学生生徒の入院費用の助成など、新たな取り組みを実施してきました。

また、子どもの教育環境向上を目指して揖斐小学校・谷汲統合小学校建設事業や学校提案型教育推進事業、学童保育事業の拡充、教育上特別な配慮が必要な児童・生徒に対して支援員を配置する特別支援学級設置事業、言語通級教室の設置、特別支援教室の増設を行うほか、地域活動の促進のための「特色ある地域づくり事業」を実施するなど、教育・文化・福祉の向上にも努めてきました。

【平成20年度の町政運営】

平成20年度は、これまでに取り組んできた政策の仕上げの年でもあると考えています。

町の将来像として掲げた「自然と歴史が育むふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向け、まちづくり計画の重点プロジェクトである地域情報・道路・公共交通の3つのネットワーク整備の充実を柱に、「安全で安心できる地域づくり」「住んでみたいまちづくり」「豊かな心を育むまちづくり」の3つの重点施策を積極的に進め、住民の皆さんが住んでよかったと実感できる町政運営に取り組んでいきます。

【平成20年度予算の考え方について】

国の地方財政対策においては、ゆる

やかな景気回復により国税の増収は見込めるものの、一方で社会保障関係経費の増加などにより、依然として大幅な財源不足を生じるものと見込まれています。

国においては歳出全般における徹底した見直しを行い、従来にも増して地方財政規模の抑制に努めることとしています。さらに、地方分権の推進や新たな自治体財政健全化法の制定など、自治体を取り巻く環境が大きく変貌し、これらに対応する為の新たな行政経営能力の強化や、行政改革の推進が強く求められています。

このように、依然として厳しい国の財政状況などを踏まえ、本町においても、個人町民税や、地方消費税交付金の減少などはあるものの、特別枠となった「地方再生対策費」による交付税の増額により、一般財源総額は増額となつていますが、歳入全体としては、依然として厳しい状況にあります。

揖斐川町としては、健全財政という基本理念を堅持しつつ、平成21年度の財務4表の公表を踏まえ、経常経費の抑制を尚一層図る一方で、町債発行や基金の取り崩しについても、前年度を下回る水準に抑制を図りながら、「揖斐川町第一次総合計画」に基づき、「住んでみたい、住んでよかった」と住民の皆さんが実感できる地域づくりを目指し、3つの重点施策に盛り込んだ、地域防災体制や、安全で安心できる生活基盤の確立、定住化対策、少子・高齢化対策の強化、健康づくりの推進、教育文化の充実を優先課題としてメリハリのある予算としました。

【重点施策】

■「安全で安心な地域づくり」

地域防災体制の確立

「災害に強いまちづくり」を推進し、たとえ災害が発生した場合でも、罹災者が安心して生活できる体制・環境づくりを進めます。

安全で安心できる生活基盤の確立

防犯体制の推進や木造住宅の耐震診断や耐震補強の助成など、日常生活に密接した生活基盤づくりを進めます。

■「住んでみたいまちづくり」

定住化対策

コミュニティバスの運行など、公共交通ネットワークや住みやすい住宅整備を行い、定住化を進めます。

少子化対策支援

少子化対策支援として子どもを安心して、生み育てることができ環境づくりを進めます。

健康づくりの推進

若年層まで含めた健康診断の実施など、住民の皆さんが元気なまちづくりを進めます。

■「豊かな心を育むまちづくり」

教育文化の充実

次世代を担う子ども達の育成のために、時代に対応した、学習環境の整備を進めます。

また、地域再生の手がかりとなる地域文化の育成保存や地域住民の自主的活動を促進し、協働の地域づくりを進めます。

■交流産業・健康産業による地域づくり

既存資源と新たな資源の開発を連携

させ、交流人口の増加を促し、観光交流産業の振興と健康産業を創出します。また、企業誘致を積極的に推進します。

【合併まちづくり計画】

■「地域情報・道路・公共交通ネットワーク」の整備

「合併まちづくり計画」の重点事項

である3つのネットワーク整備は、その効果が現れつつある今こそ、着実に実施することが重要です。

地域情報ネットワークは、住民の皆さんへの新たな情報提供システムである「いびがわチャンネル」のテレビ放送や音声告知放送の内容の充実を図ります。公共交通ネットワークについては、住民の足の確保として、公共交通の整備や支援を行います。

道路ネットワークの整備については、年間を通じて安全に走行できる道路環境の確保が必要であり、安全で快適な道路ネットワークの構築に取り組みます。

【その他事業】

■「環境」

自然や地域環境にやさしい地域づくりとして、本町では、揖斐川の上中流域の役割である、水環境の保全を重要な課題として捉え、地域の実情に応じた適正な生活雑排水の処理を行っています。

また、住民・事業者・行政が協働し、それぞれの責務において廃棄物の減量化や再資源化に取り組むための支援を行います。

■「福祉、健康」

高齢者や障がい者が安心して暮らせ

る地域づくりとして、一人ひとりの状況に応じたサービス提供や、地域全体で高齢者や障がい者を支える施策を進めます。

また、医療過疎がクローズアップされる中、安心できる地域医療体制の確保や地域住民が健康で暮らすための、健康づくり事業を充実します。

■「産業振興」

活力ある地域づくりには、各種産業振興が必要です。農業や林業は、水源涵養や景観形成、二酸化炭素削減など公益性が高く、多面的な機能の維持保全に努めていくとともに、生産性の向上や後継者育成なども進めていきます。商工業の振興については、中小企業や勤労者、各種商工会支援事業を積極的に実施し、地域経済の活性化を図っていきます。

■「行政改革」

平成17年度に「揖斐川町行政改革大綱」、「揖斐川町集中改革プラン」を作成し、現在計画に基づく実施項目を適宜実施しています。現在まで、財団の統合や外郭団体の外部評価、町有施設の管理運営見直しなど、効率的な行政経営のための改革を実施してきました。20年度は、事業仕分の実施や意図的な滞納者に対する徴収の徹底を行っていきます。

定員管理適正化計画における職員の削減についても、経常経費削減の面から、目標達成に向け、取り組んでいきます。

公会計制度改革など、国の新たな制度改革については、今後の国の動向に

【歳入・その他】

町税は、税源移譲や経済状況の動向などを慎重に見極め、現時点で見込み得る額とし、地方交付税についても、国の交付税総額や特別枠などを勘案し計上しました。その他、町債や基金繰り入れなどにより、町政運営に必要な財源の確保に努めました。特に、将来負担となる町債や、貴重な財源である基金については、両方とも昨年度より減額しました。

特別会計においては、事業の円滑な実施のため限られた財源を有効に配分し、それぞれの予算が受け持つ適正な事業の役割を果たすよう健全財政の維持に努めながら、予算編成に努めました。

今後ますます地方分権による自己決定・自己責任が進められ、経常経費の削減が必須である厳しい財政状況にあっても、町政の停滞はいつときの猶予も許されません。

現下の厳しい財政状況を毅然としてとらえ、揖斐川町が「住みよい元気あるまち」となり、住民の皆さんから「合併してよかった」「住んでみたい」「住んでよかった」と言っていただけのように、職員がプロとしての意識を持ち、一丸となって知恵を出し、「集中改革プラン」に沿った、今以上の行政改革、経費の削減に努め、最小の経費で最大の効果が挙げられるよう町政を進めていく所存であります。

町民の皆様方には、一層の御理解・御支援・御指導を賜りますことをお願い申し上げます。

重点施策

● 安全で安心な地域づくり



全国瞬時警報システム（緊急地震情報などをお知らせする仕組み）を整備します。
木造住宅の耐震診断や耐震補強に対する助成を行います。

■ 地域防災体制の確立

（単位：千円）

区分	事業名	概要	予算額
新規	防災対策事業	全国瞬時警報システム整備（地震や気象情報など）や災害対策用非常食の購入、地域防災計画修正の実施	15,281
新規	防災センター兼庁舎建設事業	防災拠点となる庁舎建設のための、用地取得等の実施	103,166
新規	橋梁耐震事業	粕川大橋耐震補強等工事負担金・前島橋耐震補強調査設計及び補修工事の実施	45,000
新規	小学校耐震化事業	大和小学校北舎耐力度調査・清水小学校、大和小学校耐震補強実施設計の実施	13,300
新規	中学校耐震化事業	揖斐川中学校北舎耐力度調査の実施 北和中学校南舎耐震補強工事の実施	164,150
新規	図書館書架耐震事業	図書館書架耐震補強工事の実施	2,456
拡充	消防施設等整備	消防施設（ホース乾燥塔の設置や防火水槽など）の整備 消火栓BOX設置や消防ホースの購入を実施	44,989
継続	総合防災訓練・土砂災害防災訓練	土砂災害（谷汲地内）、町防災訓練（久瀬地内）の実施	1,930
継続	災害時における道路網の整備	災害時に地域の孤立を防ぐための道路網の整備を実施	146,515
継続	急傾斜対策事業	急傾斜事業の実施	12,757
継続	治山対策事業	治山事業の実施	9,247

■ 安全で安心できる生活基盤の確立

（単位：千円）

区分	事業名	概要	予算額
新規	地域防犯事業	地域防犯台帳管理システム導入事業、防犯灯施設整備等の実施	8,016
新規	公営住宅建設事業	既設町営住宅火災報知器設置工事の実施	8,400
拡充	緊急通報装置設置事業	独居老人宅緊急通報用電話保守及び増設等の実施	1,867
拡充	建築物等耐震化促進事業	木造住宅の耐震診断や耐震補強に対する助成の実施	1,740
継続	学校安全サポーター事業	地域防犯パトロールの実施	30
継続	高齢者いきいき住宅改修事業	バリアフリー住宅改修への助成の実施	500

● 住んでみたいまちづくり



養老鉄道養老線や樽見鉄道を守ります。
揖斐川町コミュニティバスを引き続き運行します。
中学校卒業までの医療費の無料化、乳児聴覚検査・妊婦健康診査の助成を行います。

■ 定住化対策

（単位：千円）

区分	事業名	概要	予算額
拡充	養老鉄道対策事業	養老鉄道の運営費の助成	26,450
拡充	樽見鉄道対策事業	樽見鉄道の運営費の助成	14,234
拡充	コミュニティバス運行	揖斐川町コミュニティバス（地帯制ワンコイン）を運行	134,365
拡充	養老鉄道揖斐駅前周辺整備事業	養老鉄道揖斐駅前周辺整備の実施	11,580
継続	旧名鉄本揖斐駅前周辺整備事業	旧名鉄本揖斐駅前周辺整備の実施	1,000
継続	公営住宅修繕事業	ストック改善（バリアフリー化）工事の実施	79,245

■ 少子化対策の強化

（単位：千円）

区分	事業名	概要	予算額
新規	乳児聴覚検査助成事業	県の1/2負担の廃止により、20年度より町単独で（1/2）3,000円を助成	540
拡充	妊婦健康診査事業	妊婦健康診査の受診にかかる町単独の助成事業の実施（4回分から12回分に助成を拡大）	8,737
拡充	児童生徒医療支給事業	中学校卒業までの医療費の無料化を実施（町単独）	54,000
継続	各種健診事業	乳児、1歳6か月、3歳児健診及び乳児相談、母子教室の開催など子育て支援を充実	2,963
継続	不妊治療助成事業	不妊治療費の助成を行う（町単独） 1人10万円助成	1,000
継続	すこやかベビー祝い金事業	出産時1人につき5万円を助成	7,500
継続	児童手当支給費	児童手当の支給を実施（3歳未満に1万円）	173,000

平成20年度 揖斐川町

健康づくりの推進

(単位：千円)

区分	事業名	概要	予算額
拡充	健診事業など健康増進事業の実施	今までの健診等事業の実施と併せ、婦人健診に関しては、新たに18～39歳の男女を対象としたヤング健診を実施	32,374
継続	揖斐川町スポーツ交流フェスティバル開催事業	揖斐川町スポーツ交流フェスティバルの開催	3,019
継続	長寿社会ソフト作り事業	健康まつりを開催	534
継続	長寿推進事業	老人福祉運動会、敬老会開催	10,085

豊かな心を育むまちづくり

統合給食センターの整備や小中学校施設の修繕を行います。
外国人語学講師を増員し語学指導を行います。
住民ニーズに沿った学童保育事業を進めます。
特色ある自主的な取組みに対する支援を拡充します。



教育文化の充実

(単位：千円)

区分	事業名	概要	予算額
新規	統合給食センター建設事業	統合給食センターの建設を実施	620,506
新規	国民体育大会準備事業	観覧席設置工事や開催準備を実施	12,694
新規	郷土の人物史編纂事業	郷土の人物史を作成	2,606
拡充	外国人語学講師招致事業	外国人語学講師による語学指導の実施。本年度より2名増員	19,242
拡充	特別支援教育事業	教育上特別に支援の必要な児童生徒に対して、教育支援員や補助員を設置	10,967
拡充	学童保育事業	学童保育（留守家庭児童教室）事業の実施	15,561
拡充	町文化活動団体助成事業	子供歌舞伎、オペレッタ、20周年特別展示事業などに対する助成	14,869
拡充	特色ある地域づくり事業	各地域の特色ある自主的な取組みに対する支援を実施	4,000
継続	国際化事業	児童生徒のセントジョージやオーストラリアへの派遣	15,003
継続	小学校施設修繕事業	各小学校施設修繕を実施	36,392
継続	中学校施設修繕事業	各中学校施設修繕を実施	16,182
継続	学校提案型教育研究推進事業	各学校の特色ある自主的な取組みに対する支援を実施	1,000
継続	野外活動等体験事業	児童生徒の野外活動、芸術鑑賞、スキー研修などの実施	5,635
継続	学校教育指導員設置事業	学校教育指導員設置事業の実施	3,360
継続	少人数指導助手設置事業	多人数のクラスに複数の教員を配置する事業の実施	9,034
継続	文化財保存事業	久瀬・坂内民俗資料整理の実施 各保存会等が実施する文化財保存のための事業に対する助成 芸能フェスティバル開催	13,999
継続	いびがわマラソン開催	いびがわマラソンの開催	15,000

交流産業・健康産業による地域づくり

揖斐川水源地域ビジョン推進事業を進めます。
引き続き特産品振興を行います。

(単位：千円)

区分	事業名	概要	予算額
新規	揖斐川水源地域ビジョン推進事業	杉原地域周辺の整備及び活用による交流人口の増加を図る	119,251
新規	揖斐高原花の里づくり事業	揖斐高原の斜面を利用して、コスモスやポピーの植栽を実施	1,538
新規	谷汲らくらくバス運行事業	谷汲山参道らくらくバスの運行事業	2,060
継続	まちづくり交付金事業	谷汲山門前まちづくり事業の実施	41,000
継続	特産品振興事業	小菊、実バラ生産用苗及びいちご、茶用資材購入の実施	9,209
継続	農業生産基盤整備事業	用水路、農道改良等農業基盤施設の整備	65,707
継続	工場設置奨励事業	町内への企業誘致のための助成事業の実施	58,000
継続	中小企業・勤労者支援事業	中小企業融資利子補給・勤労者生活安定資金貸付の実施	10,072
継続	商工会運営支援事業	地域商工業者の育成支援	49,400

「地域情報・道路・公共交通」ネットワークの整備

音声告知放送、いびがわチャンネルで積極的に情報を提供します。
揖斐川町コミュニティバスを引き続き運行します。
生活に密着した道路整備を進めます。

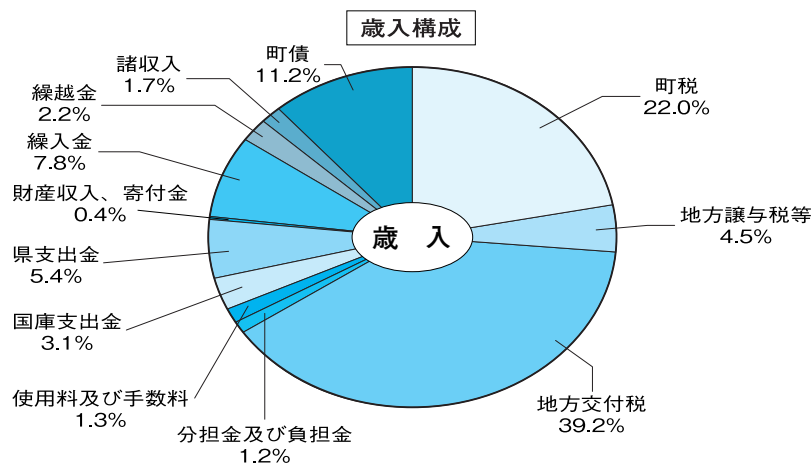


平成20年度 揖斐川町各会計当初予算

(単位：千円)

会 計 名	20年度当初①	19年度当初②	①－②	前年比当初(%)
一 般 会 計	13,808,000	14,358,000	△ 550,000	△ 3.83
国民健康保険特別会計	2,411,600	2,479,800	△ 68,200	△ 2.75
国民健康保険直診勘定特別会計	140,000	136,300	3,700	2.71
老人保健医療特別会計	289,400	2,817,400	△ 2,528,000	△ 89.73
後期高齢者医療特別会計	280,100	0	280,100	皆増
谷汲中央診療所特別会計	75,100	81,100	△ 6,000	△ 7.40
大和簡易水道特別会計	25,500	39,000	△ 13,500	△ 34.62
胫永簡易水道特別会計	20,400	19,700	700	3.55
市場簡易水道特別会計	8,300	8,900	△ 600	△6.74
谷汲簡易水道特別会計	79,400	75,000	4,400	5.87
北部簡易水道特別会計	174,200	208,500	△ 34,300	△ 16.45
北方財産区特別会計	14,600	15,500	△ 900	△ 5.81
大和財産区特別会計	7,700	8,400	△ 700	△ 8.33
谷汲財産区特別会計	10,200	8,900	1,300	14.61
長瀬財産区特別会計	1,700	3,500	△ 1,800	△51.43
横蔵財産区特別会計	5,900	4,100	1,800	43.90
農業集落排水事業特別会計	1,928,000	2,171,000	△ 243,000	△ 11.19
公共下水道事業特別会計	719,900	435,500	284,400	65.30
杉原地域土地取得等特別会計	19,800	21,300	△ 1,500	△ 7.04
個別排水事業特別会計	163,100	155,800	7,300	4.69
徳山ダム上流域公有地化特別会計	543,800	3,400,000	△ 2,856,200	△ 84.01
いび川温泉特別会計	132,000	116,000	16,000	13.79
地域情報特別会計	156,200	0	156,200	皆増
特別会計合計	7,206,900	12,205,700	△ 4,998,800	△ 40.95
総 合 計	21,014,900	26,563,700	△ 5,548,800	△ 20.89

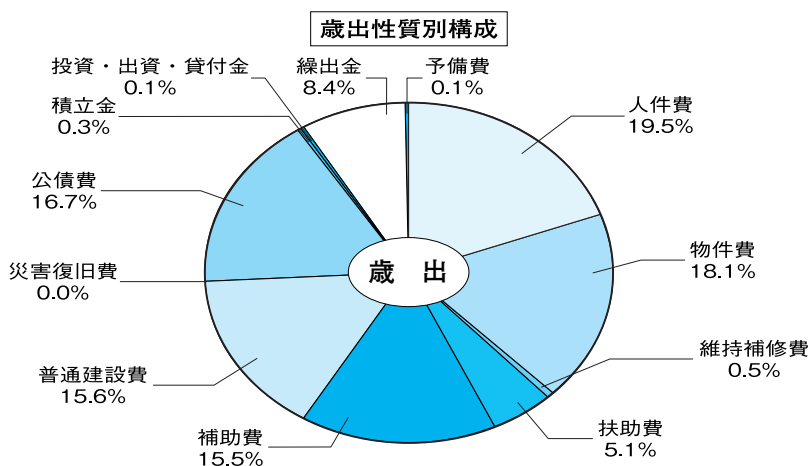
平成20年度 揖斐川町一般会計予算 【予算総額13,808百万円】



【歳入】

(単位：千円)

区 分	20年度当初
町税	3,037,682
地方譲与税等	626,072
地方交付税	5,412,500
分担金及び負担金	168,629
使用料及び手数料	178,094
国庫支出金	432,031
県支出金	742,247
財産収入、寄付金	53,617
繰入金	1,072,802
繰越金	300,000
諸収入	236,626
町債	1,547,700
合 計	13,808,000



【性質別歳出】

(単位：千円)

区 分	20年度当初
人件費	2,688,104
物件費	2,504,016
維持補修費	75,725
扶助費	701,802
補助費	2,144,851
普通建設費	2,157,810
災害復旧費	207
公債費	2,311,935
積立金	36,951
投資・出資・貸付金	7,066
繰出金	1,159,533
予備費	20,000
合 計	13,808,000